

令和5年12月7日 久留米市青峰小学校・通級指導教室  
「せいほう教室学習会」

久留米市立青峰小学校・通級指導教室「せいほう教室」さんが主催の「せいほう教室学習会」にて講師として登壇させて頂きました。

学習会には、保護者様14名と通級指導教室の先生方6名が参加されました。内容は、「子どもの意欲を伸ばす大事な視点」と題してお話をさせて頂きました。

具体的には、

①発達障がいとは？

②常識とは？

③ICT教材の効果

④子どもの意欲を伸ばす関わり方のポイント

などのテーマを通して講義とワークを織り混ぜて進めていきました。

一つ内容を紹介すると、

子どもへの声かけとして、以下のような言葉を使ったことはありませんでしょうか？

「何で出来ないの？」 「何度言ったら分かるの？」 「そうじゃないでしょ！」

「みんな出来てるのよ！」 「見たら分かるでしょ！」 「早くしなさい！」

「そんなこと聞かないで！」 「いいかげんにしなさい！」 「自分で考えなさい！」

「いつまでやってるの？」 「もう知らない！」

いかがですか？

ほとんどの方が使ったことのある言葉だと思います。もちろん私も何度も使ったことがあります。

全ては子どものため。子どもの将来のため。  
ほとんどの場合、大人側に悪気はありません。  
親も支援者も必死です。

しかし、焦りと見通しのなさや孤立感が上記のような否定的な声かけの数々をいつの間にか増加させてしまいます。

それでは、上記の否定的な声かけを「肯定的な言葉」に置き換えると、どのような声かけになるでしょうか？

というような流れでグループワークを行いました。

子ども親も教師も支援者もみんな同じ人間です。誰しも完璧ではありません。常識や世間体や時間に追われて余裕がないだけです。皆で協力すれば、必ず「肯定的な言葉」は増えていきます！

発達子どもアカデミー研修担当・南川悠

